

敷地面積	1,371.89 m ²
建蔽率 (50%)	$(634.13 / 1,371.89) \times 100 = 46.23\%$
容積率 (50%)	$(617.65 / 1,371.89) \times 100 = 45.03\%$

床面積合計 = $(636.46\text{m}^2) + (4.50\text{m}^2) = (640.96\text{m}^2)$
 $(640.96\text{m}^2) \times 1/5 = 128.192 \Rightarrow [128.20\text{m}^2] > 23.31\text{m}^2$ (屋根下) 車庫・車路
 ・(640.96m²) - (23.31m²) = [617.65m²] m² (※52条第1項に規定する実床面積)

申請建物 (1)		申請建物 (2)		計
(地区会館、青少年、高齢者)		(ごみ置場)		
建築面積	629.63 m ²	4.50 m ²	634.13 m ²	
床面積				
地区会館	303.94m ²			
保青庫	178.45m ²			
郵便局	124.49m ²			
室外機置場	6.27m ²			
車庫・車路	23.31m ²			

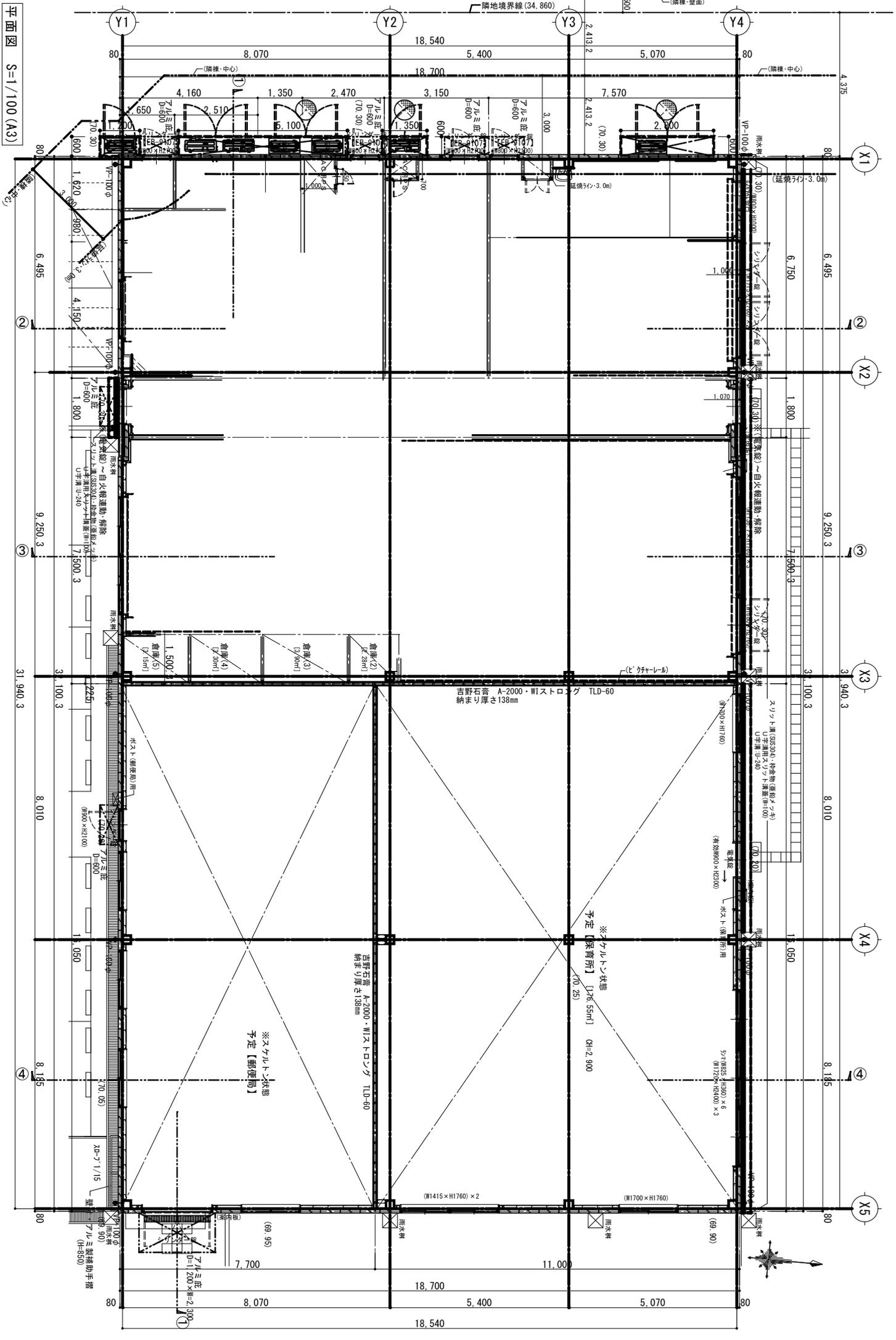
※壁面後退区域内の設置制限の緩和対象工作物
 館名看板 ~ R C造 (W2,500 × D180 × H120)
 掲示板 ~ R C造 (W1,000 × D210 × H2,060)
 上記、「地区会館」と表示する看板である。
 郵便局前のポスト
 上記、「ポスト」会館の利便に供する物である。

遣方手順
 ポイント (A) (B)に平行に南へ7,855m/m移動した直線を (Y4) 通とする。
 ポイント (A) (B)上の点で Aより東に (4,455m/m)の点をポイント (C)とし、
 ポイント (A) (B)に直交し ポイント (C)を通る直線を (X1) 通とする。
 ※ (K(BM))、(道路)、(強況)、(隣地)、(フクロイチ) 及び各道路からの
 出入口のレベルについて確認すること。

※各斜線制限の離隔距離、後退距離を確認すること。



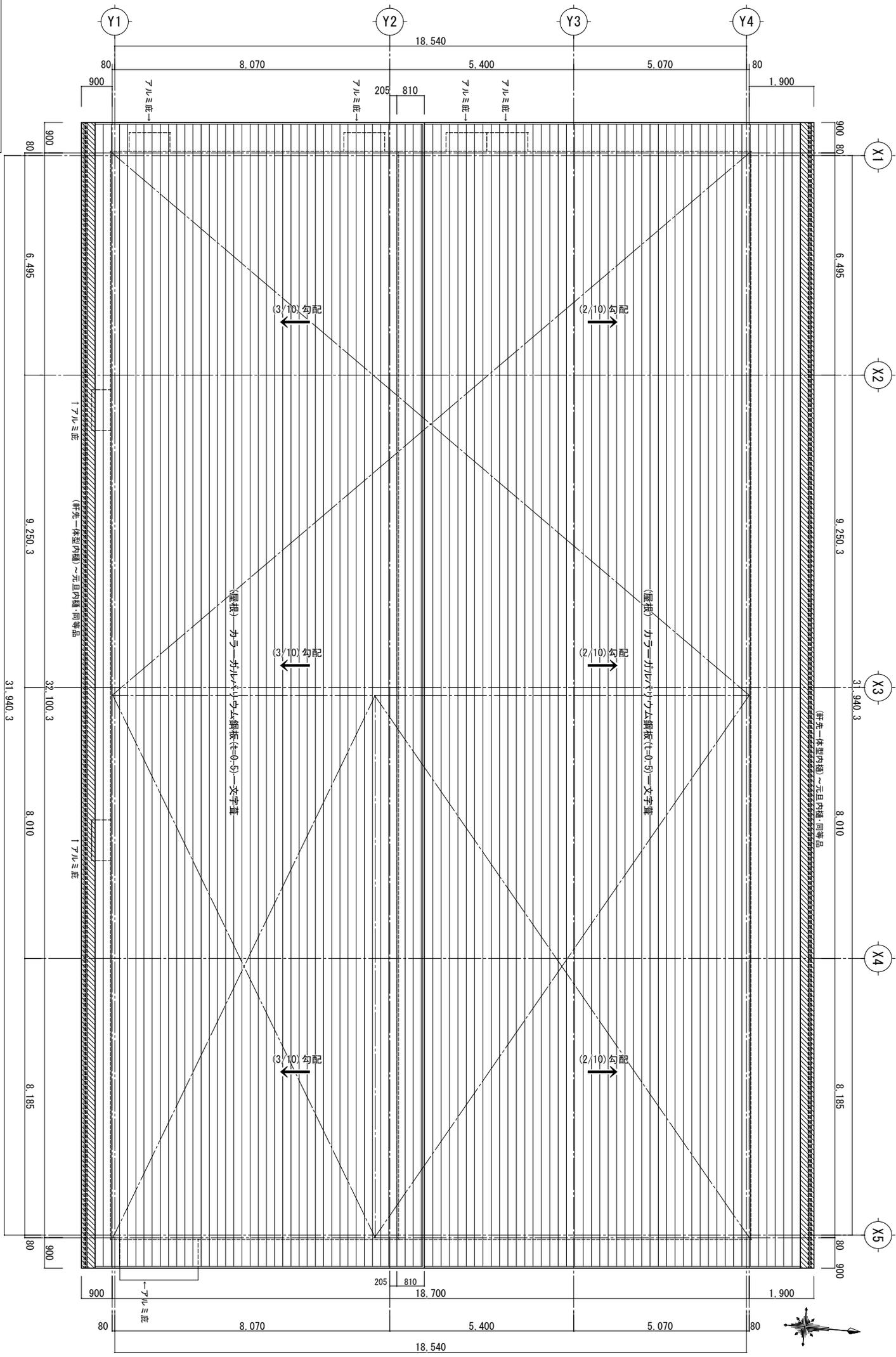
配置図 S-1/200 (A3)

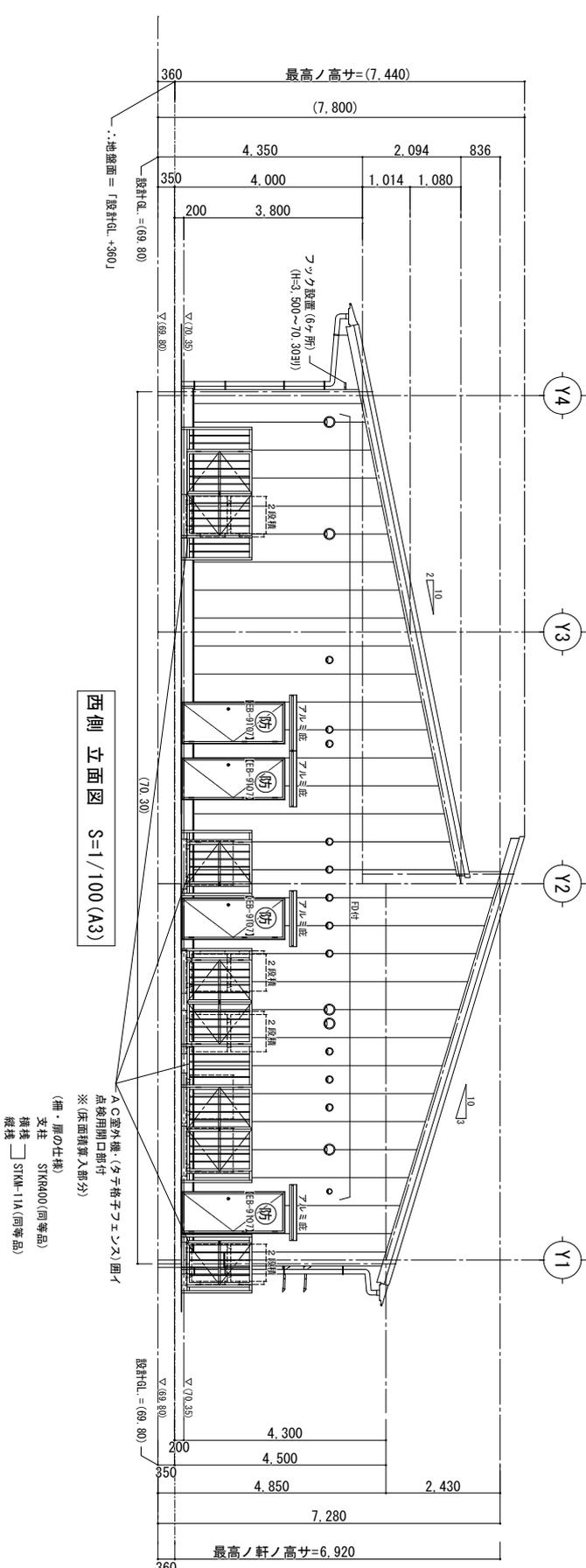
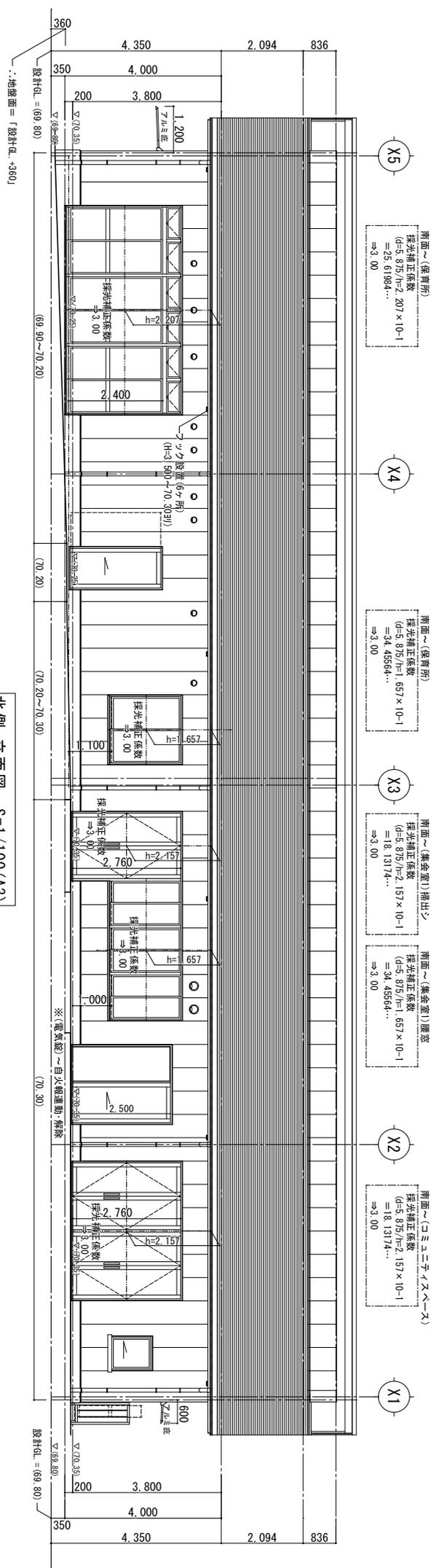


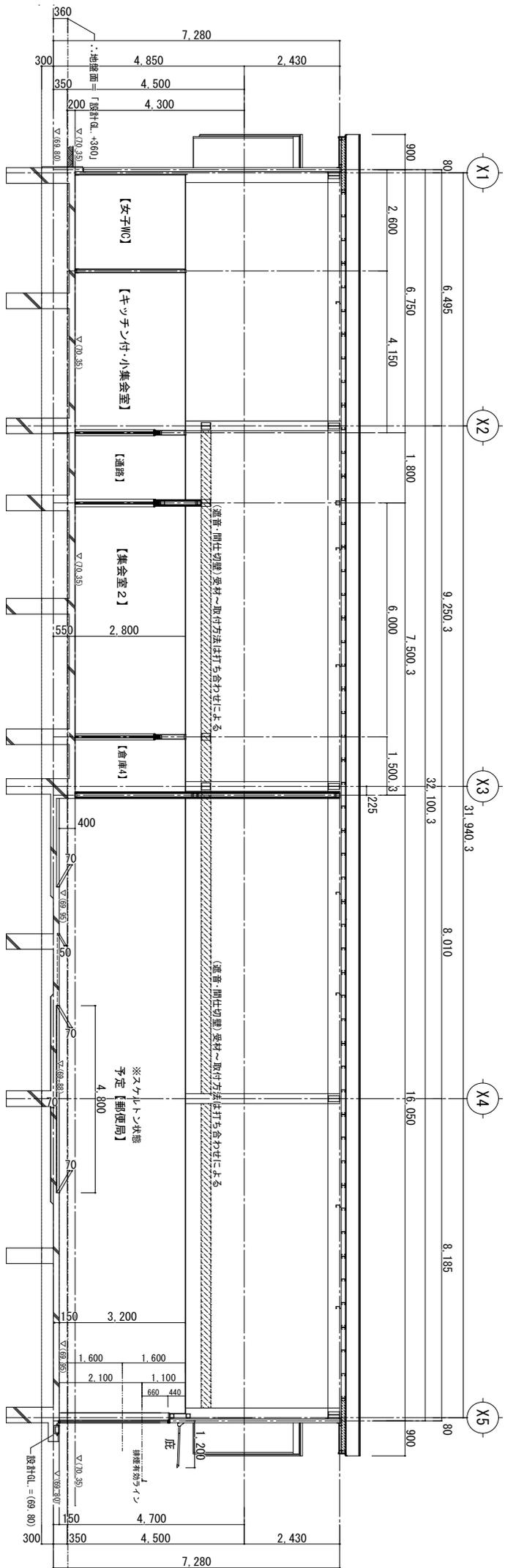
平面図 S=1/100 (A3)

特記事項：内壁のW1ストロンク部は90mmフカシ予定

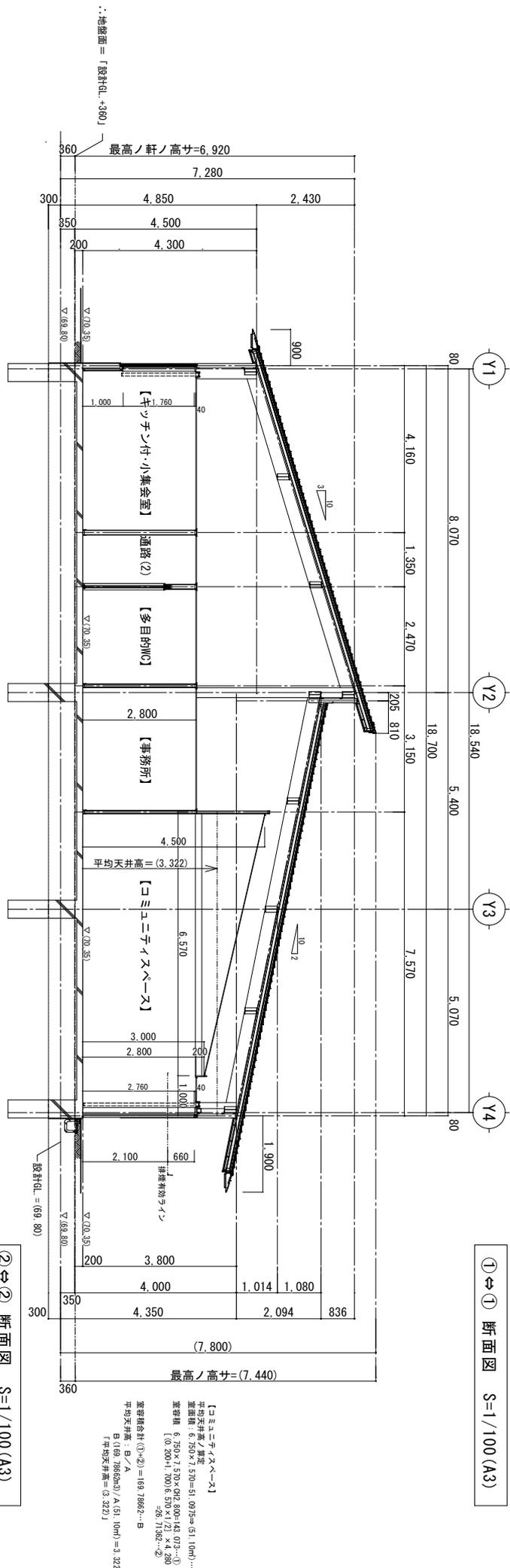
屋根伏図 S=1/100 (A3)







①⇔① 断面図 S=1/100 (A3)



②⇔② 断面図 S=1/100 (A3)

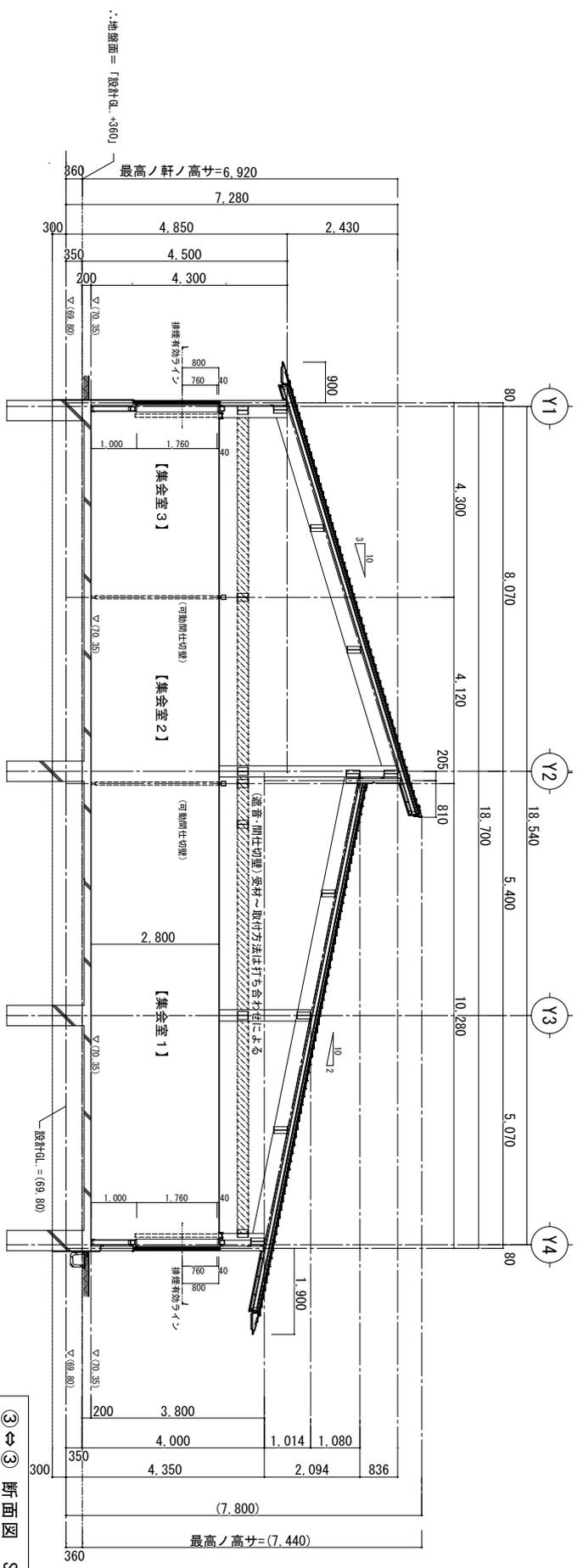
∴地盤面 = 「設計RL = -3.80」

最高ノ軒ノ高さ=6,920

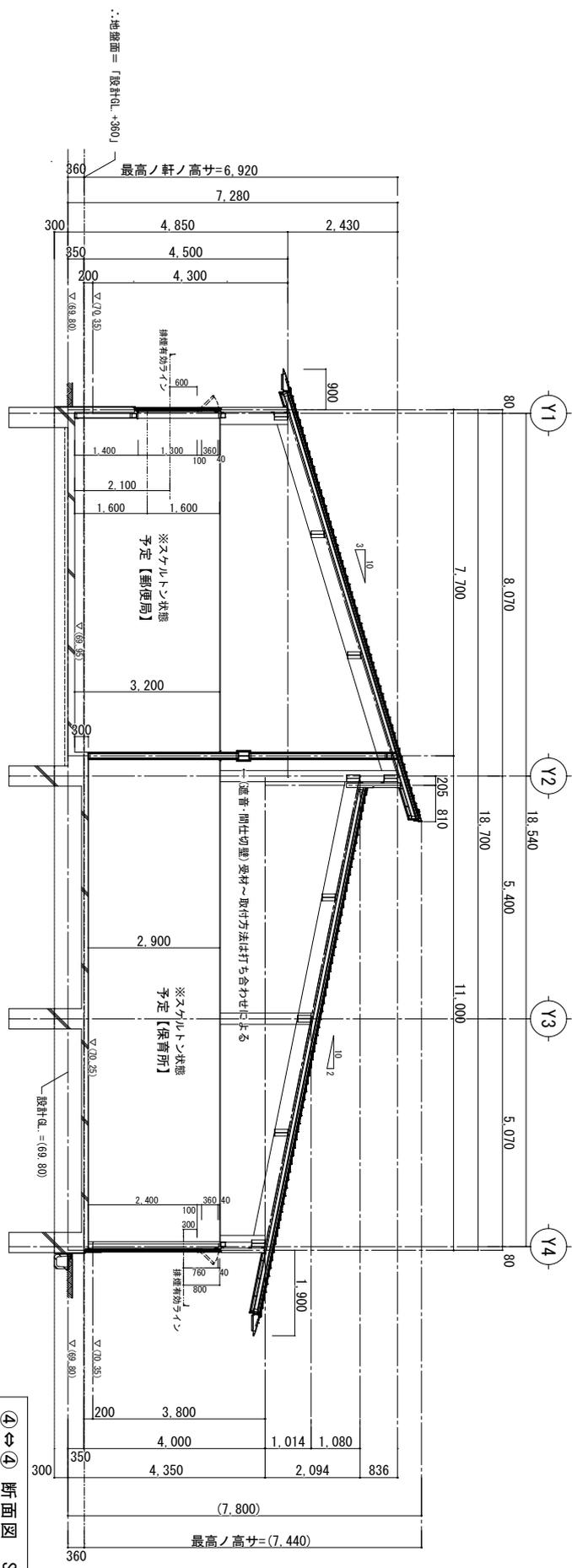
最高ノ高さ=(7,440)

【コンピュータース】
 平均天井高ノ算定
 室面積: 6,750×7,570=51,097.5⇒(61,100)→A
 室容積: 6,750×7,570×2,800=143,073,000→①
 容積率: (0.20×1,700)×5,750×7,570×2,800
 =26,713,620→②
 容積率合計(①+②)=169,786.2→B
 平均天井高: B/A
 B(169,786.2)/A(51,100)=3.3236...
 「平均天井高(3.32)」

特記事項: 内壁のW1ストロング部は90mmヲカシテ定

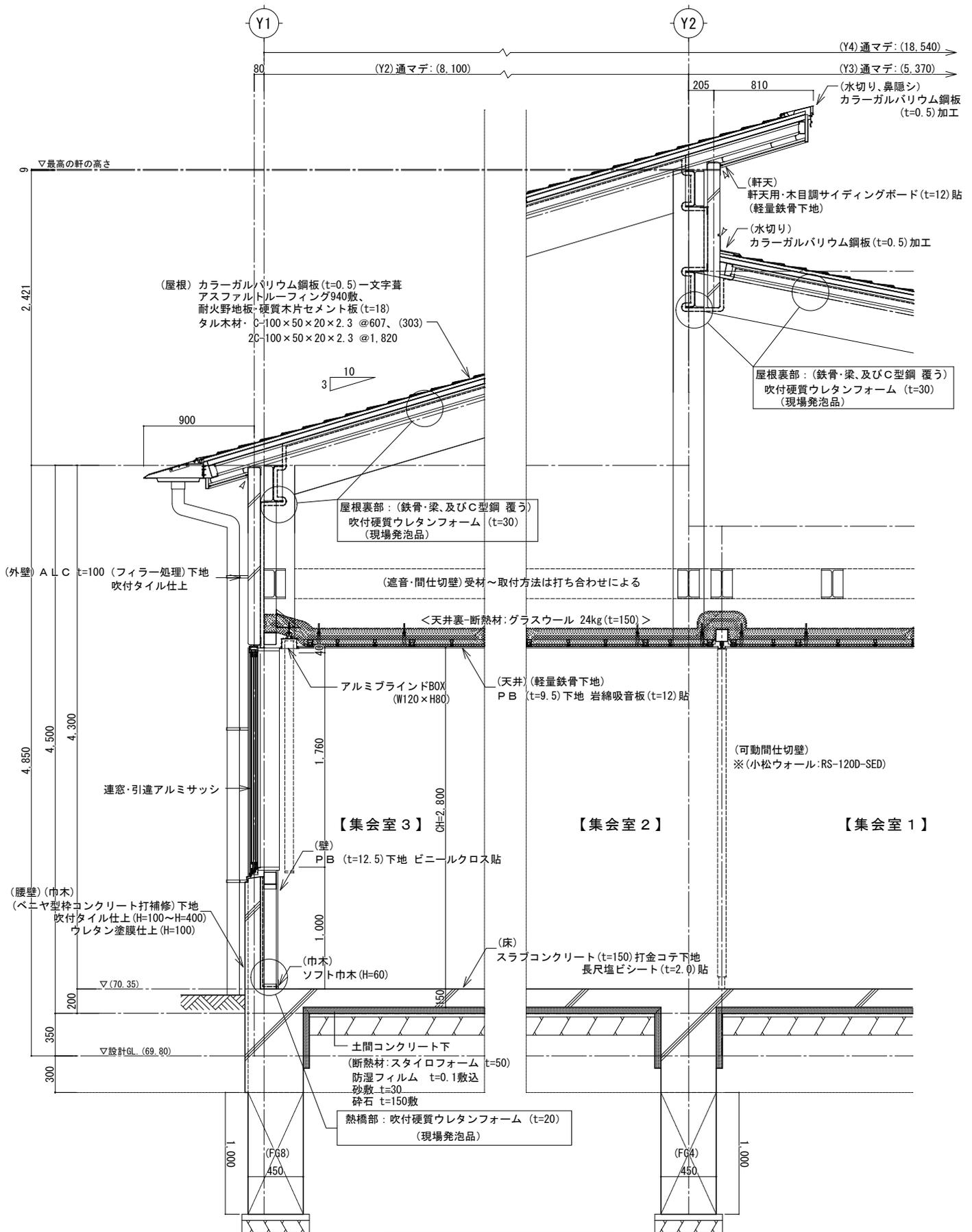


③⇔③ 断面図 S=1/100 (A3)

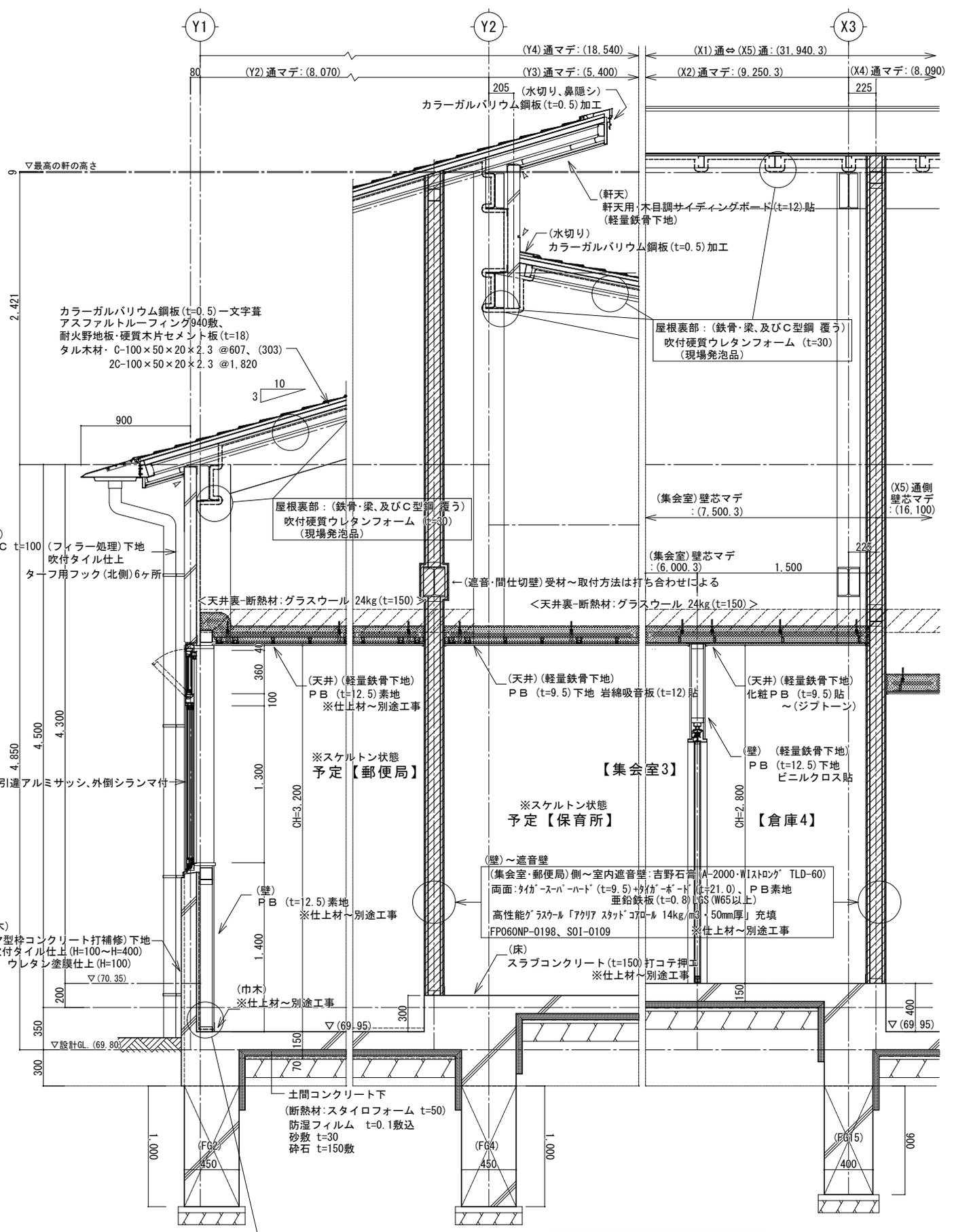


④⇔④ 断面図 S=1/100 (A3)

特記事項：内壁のW1ストロング部は90mmフカン予定



断面詳細図 (2) S=1/30 (A3)



▽最高の軒の高さ

2.421

カラーガルバリウム鋼板 (t=0.5) 一文字葺
 アスファルトルーフィング940敷、
 耐火野地板・硬質木片セメント板 (t=18)
 タル木材・C-100×50×20×2.3 @607、(303)
 2C-100×50×20×2.3 @1,820

900

10
3

(軒天)
軒天用、木目調サイディングボード (t=12) 貼
(軽量鉄骨下地)

(水切り)
カラーガルバリウム鋼板 (t=0.5) 加工

屋根裏部: (鉄骨・梁、及びC型鋼 覆う)
吹付硬質ウレタンフォーム (t=30)
(現場発泡品)

(集会所) 壁芯マデ : (7,500.3)

(集会所) 壁芯マデ : (6,000.3)

1.500

(X5) 通側壁芯マデ : (16,100)

225

(外壁)
ALC t=100 (フィラー処理) 下地
吹付タイル仕上
ターフ用フック (北側) 6ヶ所

<天井裏-断熱材:グラスウール 24kg (t=150)>

<遮音・間仕切壁> 受材~取付方法は打ち合わせによる

<天井裏-断熱材:グラスウール 24kg (t=150)>

360

100

(天井) (軽量鉄骨下地)
PB (t=2.5) 素地
※仕上材~別途工事

OH=3,200

※スケルトン状態
予定【郵便局】

1,300

(天井) (軽量鉄骨下地)
PB (t=9.5) 下地 岩綿吸音板 (t=12) 貼

(天井) (軽量鉄骨下地)
化粧PB (t=9.5) 貼
~(ジブトーン)

OH=2,800

【集会所3】

※スケルトン状態
予定【保育所】

(壁) (軽量鉄骨下地)
PB (t=2.5) 下地
ビニルクロス貼

OH=2,800

【倉庫4】

(壁)~遮音壁
(集会所・郵便局) 側~室内遮音壁: 吉野石膏 (A-2000-WIストロンク TLD-60)
両面: タカ「スパーハート」 (t=9.5) + タカ「ホー」 (t=21.0)、PB素地
垂鉛鉄板 (t=0.8) 6S (W65以上)
高性能グラスウール「アクリア スタッドコロ」 14kg/m³ 50mm厚! 充填
FPO60NP-0198、SOI-0109
※仕上材~別途工事

(床)
スラブコンクリート (t=150) 打コテ押し
※仕上材~別途工事

1,400

(巾木)
PB (t=2.5) 素地
※仕上材~別途工事

1,400

(巾木)
※仕上材~別途工事

ペニヤ型枠コンクリート打補修) 下地
吹付タイル仕上 (H=100~H=400)
ウレタン塗膜仕上 (H=100)

200

▽ (70.35)

350

▽設計GL. (69.80)

300

150

70

1,000

土間コンクリート下
(断熱材: スタイロフォーム t=50)
防湿フィルム t=0.1敷込
砂敷 t=30
砕石 t=150敷

(F02) 450

(F04) 450

(F05) 400

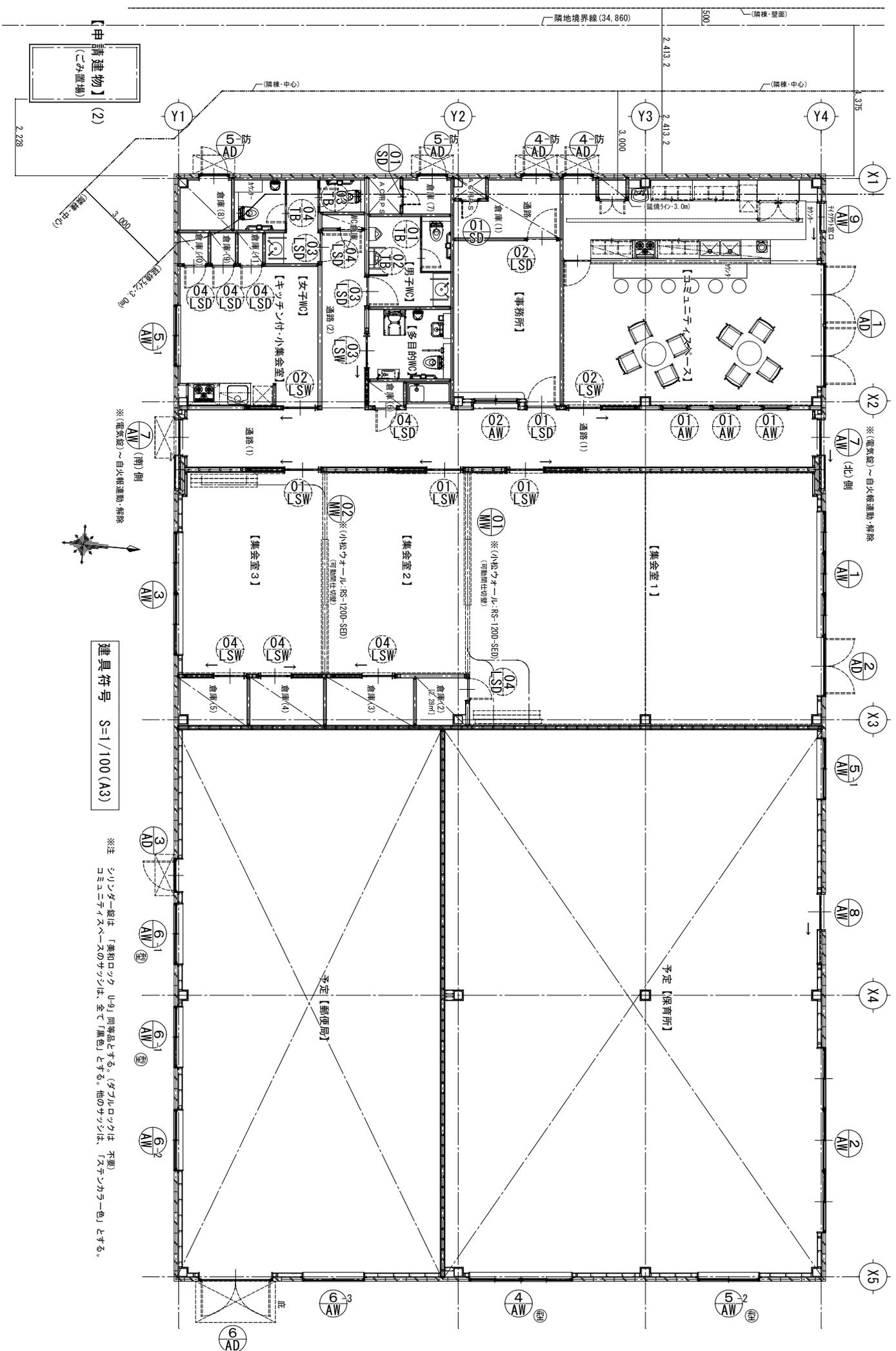
1,000

900

熱橋部: 吹付硬質ウレタンフォーム (t=20)
(現場発泡品)

断面詳細図 (4) S=1/30 (A3)

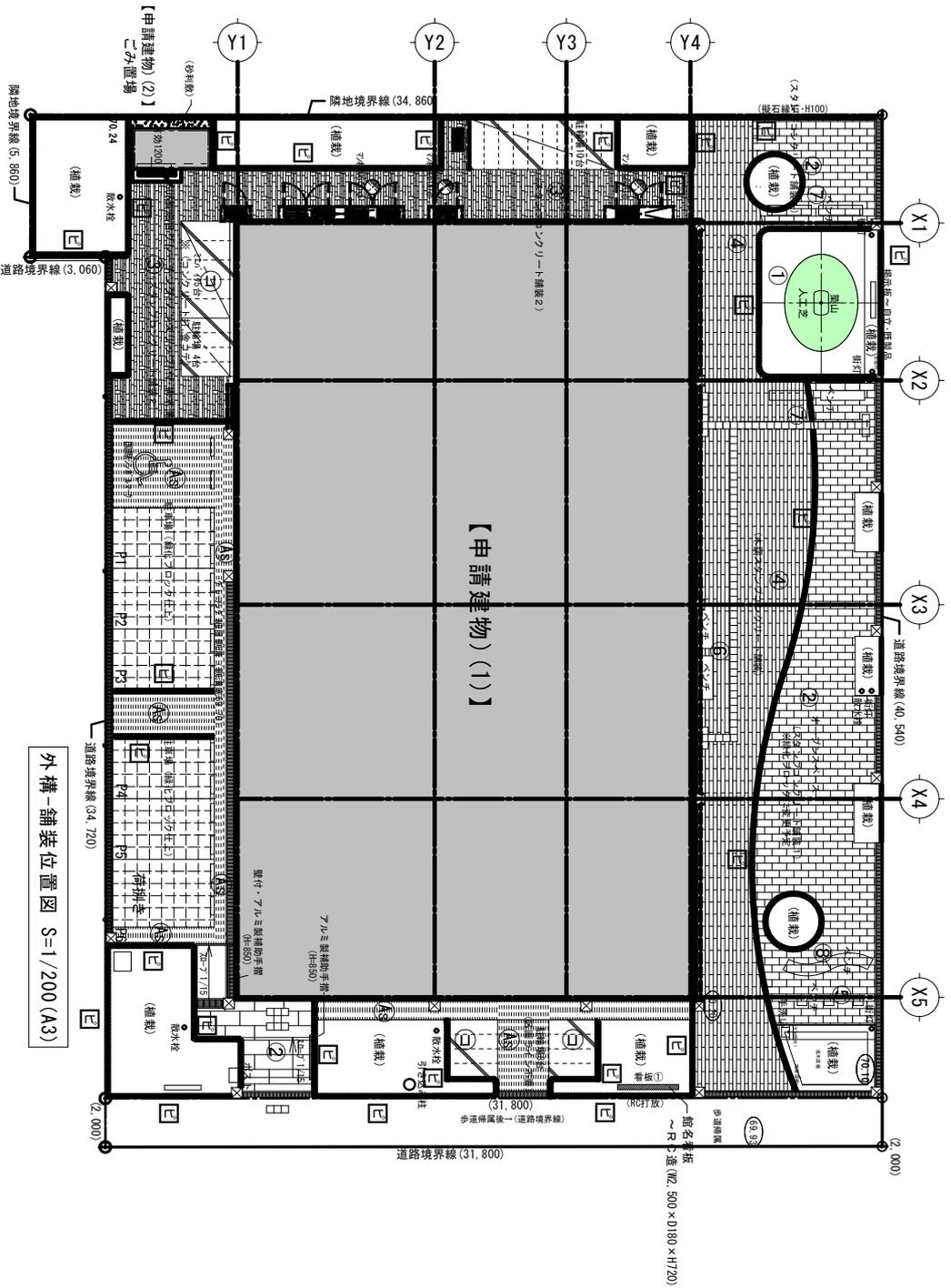
特記事項: 内壁の窓枠部は90mmをカン予定



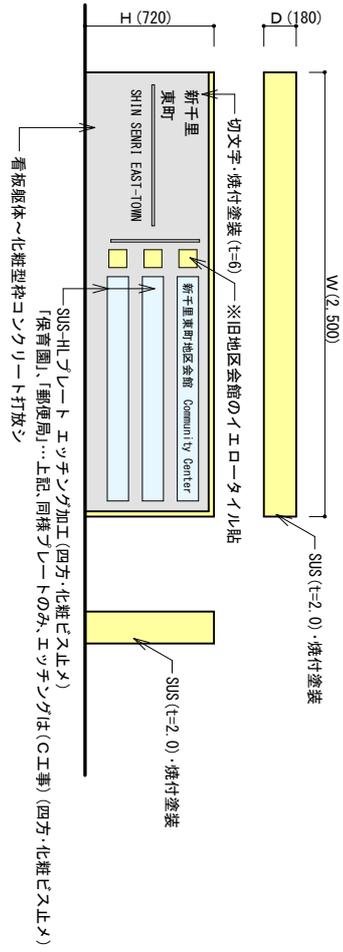
建具符号 S=1/100 (A3)



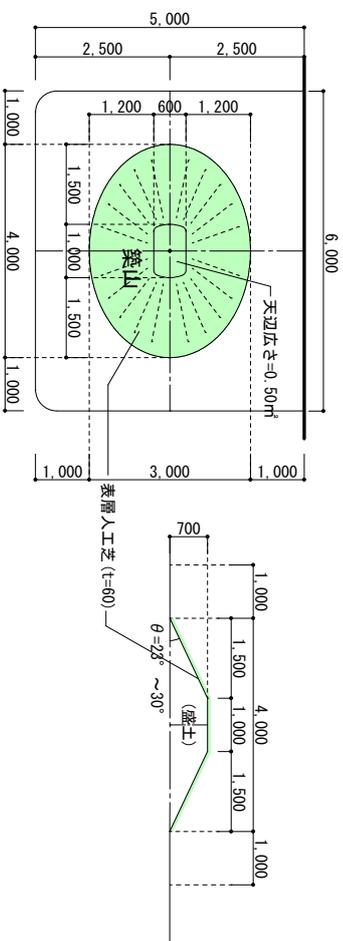
<p>呼称 ガラス・仕上 備考</p>	<p>2連・両開キアルミミッドア、外側シラソ付 見込(70)</p>	<p>2連・両開キアルミミッドア、引違アルミサッシ 見込(70)</p>	<p>片開キアルミミッドア 見込(70)</p>	<p>片開キアルミミッドア 見込(70)</p>	<p>片開キアルミミッドア 見込(70)</p>
<p>呼称 ガラス・仕上 備考</p>	<p>2連・両開キアルミミッドア、外側シラソ付 見込(70)</p>	<p>2連・両開キアルミミッドア、引違アルミサッシ 見込(70)</p>	<p>片開キアルミミッドア 見込(70)</p>	<p>片開キアルミミッドア 見込(70)</p>	<p>片開キアルミミッドア 見込(70)</p>
<p>呼称 ガラス・仕上 備考</p>	<p>2連・両開キアルミミッドア、外側シラソ付 見込(70)</p>	<p>2連・両開キアルミミッドア、引違アルミサッシ 見込(70)</p>	<p>片開キアルミミッドア 見込(70)</p>	<p>片開キアルミミッドア 見込(70)</p>	<p>片開キアルミミッドア 見込(70)</p>
<p>呼称 ガラス・仕上 備考</p>	<p>2連・両開キアルミミッドア、外側シラソ付 見込(70)</p>	<p>2連・両開キアルミミッドア、引違アルミサッシ 見込(70)</p>	<p>2連・両開キアルミミッドア、引違アルミサッシ 見込(70)</p>	<p>2連・両開キアルミミッドア、引違アルミサッシ 見込(70)</p>	<p>2連・両開キアルミミッドア、引違アルミサッシ 見込(70)</p>



館名看板～RC造(W2,500×D180×H720) (S=1/30(A3))



築山 詳細図 S=1/100(A3)



①		人工芝	
②		スラブコンクリート舗装1	
③		スラブコンクリート舗装2	
④		木造スラブコンクリート舗装	
⑤		カヌエスワール	
⑥		ベンチ1	
⑦		ベンチ2	
⑧		ベンチ3	
AS	(アスファルト舗装)	(密粒アスコン t=50)	
㊦	(コンクリート打鋪装)	(張掛工: 砕石-C-40 t=200)～ローラー転圧	
E	(搬石縁石-H100)	(土間コンクリート打金コ字仕上 t=100)	
		(自地モルタル)	
		(空練りモルタル t=30・クラックヤラン t=100敷)	

※詳細図は別図面、参照